講義名	スポーツ科学演習Ｂ（フットサル/ソフトボール）				
科目区分	健康スポーツ科学				
担当教員	森下　純弘				
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 ４時限			授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科／ 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2018年度 人間社会学部 観光学科／				
履修開始年次	２年生	単位数	2	備考	

主題と概要

講義内のスポーツについて，共通したチームスポーツの特性と理論について理解し実践力を高めるとともに，体気づき，仲間との交流，体の調整，基礎的な体力要素である力強さ，柔らかさ，ねばり強さ，巧みさ等これらの運動課題（体操）を習得し，また，効果的に，楽しく学習できる指導方法を身につけることを狙いとする。
グループ学習による実技を中心に行い，理論については講義並びにグループ討議を行う。
各スポーツに対するルール理解，技術・戦術を理解した上でゲームに用い，積極的に取り組む。
スポーツの楽しさを体現し，仲間や対戦相手への感謝の気持ち，コミュニケーション能力の育成。

到達目標

１．「健康」獲得の方法を体得できるようになる。
２．歴史やルール、基礎技術等を理解し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。

提出課題

必要な場合のみ，課題の提出を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

改善点・方法だけでなく，良かった点や次の目標に重点を置く。

評価の基準

※授業実施時間数の4回以上欠席した者は単位を認定しない。
※9回分の講義についてのレポート課題・・・・・・・・30%
※授業中の評価：授業態度など・・・・・・・・・・・60%
※期末期の評価：最終レポート課題・・・・・・・・・・・・・10%

履修にあたっての注意・助言他

スポーツが苦手な者も楽しんで講義に参加し，体力の維持向上に関心を持って頂きたい。

教科書

.特になし.

プリント資料及び参考文献

授業計画

第1回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第2回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第3回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第4回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第5回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第6回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第7回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第8回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第9回　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第10回　実技（3密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第11回　実技（3密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第12回　実技（3密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第13回　実技（3密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第14回　実技（3密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第15回　実技（3密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）

※新型コロナウイルスの影響により、シラバスを変更する場合があります。
　また、種目についても3密を防ぐ目的から内容を変更する場合があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション
○	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

ルールや技術，練習方法について，15分程度で良いので本やインターネット等で事前に調べておくことが望ましい。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考